

CAGLIERO

カリエロ11 サレジオ会
宣教ニュース

N.119 - 2018年11月



サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

今

から一年後には、私たちは教皇フランシスコが宣言した特別宣教月間を全教会と共に祝い終わっているでしょう。私たちはベネディクト十五世の宣教の書簡、Maximum Illudを手を持って、そして心に抱いてその月間を祝いたいと思います。この書簡の簡単でありながら要となる考えはこれです：宣教師は「天から降って来るわけではない」。宣教師を育てること、養成することが必要です。

取り組まなくてはならない鍵となる要素は、言葉の習得レベルです。それは宣教しようとする人々の大切にしているものを受け入れようとする宣教師の意志の表れです。言葉は、人の心と文化を開く鍵です。「あの宣教師は私たちを大切にしている。私たちの言葉を話せるではないか」と言われるのをよく耳にします。サレジオ会員は皆、一人ひとり、若者の中に遣わされる宣教師です。常に新しい言葉を学んでいます。流行りの若者言葉でさえも。すべての人へ ad gentes 遣わされるサレジオの宣教師に備わっているべき資質の一つは、言語への開かれた姿勢です。それだけで良い宣教師になれるわけではありませんが。私たちには卓越したお手本が与えられています。例えば：モンシニョール・オレステ・マレンゴ(1906-1998)は、インド東部の22の言語を話すことができました。親愛なる兄弟会員、あなたは宣教的、言語的な聖霊降臨により深く協力する心の用意ができていますか？



J. Basanes

宣教顧問 ギジェルモ・バサニェス神父

サレジオのパン・アマゾン会議

アマゾンに拠点を持つサレジオ会諸管区は、アマゾンでの私たちの宣教の125年を振りかえり、現在、前にしている挑戦を考察し、新たな熱意をもって将来を計画する会議を開催します。私たちは、パン・アマゾン・シノドスを準備している教会と共に歩みたいと願います。主な参加者は、ブラジルのマナウスとマトグロッソで働く宣教師たちです。エクアドル、ペルー、ベネズエラ、パラグアイのサレジオ会員も参加します。多くのサレジアン・シスターズ、信徒・協働者も参加します。アマゾン流域におけるドン・ボスコの存在は非常に意味深いものです。私たちは35の宣教共同体で働き、少なくとも44の民族グループに奉仕しています：サバンテ、ポロロ、テレナ、グアラニ、カイオワ、キニキアナウ、アティクム、グアト、オフアイエ、カディウイエウ、クラ・バカイリ、トゥカノ、タリアノ、デッサノ、ピラタプリア、フバダ、クベオ、ウアナノ、パラッサノス、ミリティタプリア、アラバツソ、トゥユカ、カラパナツソ、バレ、シュアール、アチュアル、シャウィ、カンドジ、ウアンピス、アワジュン、ケチュア、チャブラ、クカマクカミツジャ、シヴィツジョ、アラワコス、ヒウィ、ピアロア、ヤノマミ、イエクアナ、セネマ、イエカウアナ、アヨレオ、マスコイ、イシル、トマライオです。

広大で魅惑的なアマゾン流域の若者は、さらの多くのドン・ボスコの子らを迎えたいと望んでいます。サレジオのスタイルで、キリストへの信仰、キリストの豊かさをもたらしてほしいと若者たちは願っています。アマゾンの顔を持つ教会を共に築きたいと願っています。この地の若者たちは、地球の物理的な肺であるだけでなく、霊的な肺でありたいと願っています。キリストと先住諸民族の文化との出会いは、全人類を豊かにすることができます。

1. 会議のポスターは、アマゾン一帯の豊かさと複雑な多様性を表現しています：大都会、アマゾン川流域の人々の生活、高床式の家々、町の郊外、村、聖なるものの象徴としての山など。
2. 手前には、私たちのミッションの主な対象者が描かれています：片側に先住民族の若者、もう一方には、川に漕ぎ出す子ども、若者たち。
3. 中心にはシノドスのシンボル……教会との一致を表します。
4. オウムと緑によって動物と植物の生態系が象徴的に表されています。
5. マナウス管区が会議のホスト管区となりますが、アマゾン流域各地の支流がポスター全体の水のしるしに表されています。
6. シノドスのロゴが同じ書体と色で示され、私たちが教会の中でその一員として仕えることを表しています。





第149回 宣教派遣

2018年9月30日 トリノ - ヴアルドッコ

9月30日、扶助者聖母大聖堂で、総長は25人の新たな宣教師を世界各地に送り出しました。良き牧者イエスの姿と「Damihimianimas cetera tolle」の言葉が刻まれた十字架が、一人ひとりに授けられました。ドン・ボスコの後継者は説教で、いくつかの点を強調しました：



1. 聖霊による本物の宣教師

あなたがたは、「行く」ため、ただひたすら「もっと行く」ために遣わされるものではありません；精神をもたらすため、ドン・ボスコの抱擁を、マドレ・マザレロの温かな人間性を、そして私たちの最初の兄弟・姉妹会員たちの大胆な勇気を広げるためです。神の霊に所属するという真実な感覚がありますように。あなたがたは生き方と言葉とによってそれを告げ知らせます。牧者の愛があなたがたの存在と行いの真の中心でありますように；ドン・ボスコと私たちの会の聖人たちが愛し従った福音のキリストが、あなたがたの人格の中核に本当におられますように；あなたがたが、謙遜に、熱心に教会の子としての感覚を生きますように；子ども・若者への優先的な愛を；予防教育法の特徴である慈愛を；疲れを知らない働きのただ中で、節制と共に、家族精神を、生きますように。

2. 耳を使う謙遜な宣教師

あなたがたは若者の言葉に耳を傾け、自分の言葉を分かち合うため、若者たちの苦しみと喜びに耳を傾け、救いの「言葉」を告げるために、彼らのもとへ行きます。その言葉はあなたがたの言葉ではなく、あなたがたがイエスの霊に耳を傾けることによって自分の内に培うようになった言葉です。

3. 小さな者、最も低くされた者たちのための粘り強く勇気ある宣教師

今日、皆さんは弟子、僕としてこのような人々のもとへ遣わされます。ドン・ボスコが最初の宣教師たちに贈った「勸告」に次のようになります：「病人、児童、老人、貧者を特別に世話しなさい。そうすれば、神の祝福と人びとの好意が得られます。」

サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエルルイジ・カメローニ神父



尊者 シモーネ・スルジ (1877 - 1943)

サレジオ会修道士、イエスの同胞。11月27日は尊者の帰天75周年に当たります。スルジ修士は生来たいへん善良な人でしたが、霊的努力と勇気ある教師たちの信仰における導きが、彼をキリスト者の生活の最高の高みへと至らせました。スルジ修士は看護師であり、製粉の仕事もしました。生涯を通して、愛が彼の武器でした。ベツレヘムのドン・ベッローニの学校で目にしたことに触発されたのです。スルジ修士はそれをすべての人に用いました、正教徒やイスラム教徒にも。当時は、カトリック信徒にとりイスラム教徒や正教徒と平和的な関係を築くことの難しい時代でした。異教徒への無関心が一般的で、若干の敵対心さえあった時代でした。

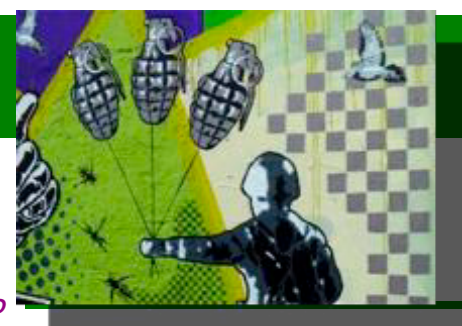
紛争地域の サレジオ会員のために



サレジオ会の宣教の意向

戦争あるいは暴力的社会の中にあるさまざまな国に暮らすサレジオ会員のために祈ります。主が彼らを照らし、平和のあかし人、平和の教育者としてくださいますように。

世界のあらゆる地域に戦争を含む緊迫した状況があり、サレジオ会の拠点がその前線に置かれることもあります。会員の安全を祈り、また会員が安定的平和へと導く、対話と出会いの道具となるよう祈ります。



Cagliari 11 (カリエロ11)の全バックナンバー：<http://salesians.jp/library/cariero>